

増田ふるさと公園の保全と活用

小倉 滋・室谷敬一・横山法次・北村 健 (NPO 法人三木自然愛好研究会)

増田ふるさと公園の前身は農地と溜池、雑木林が広がり貴重な野草や小動物が暮らす普通の里山でした。圃場整備が計画された時、三木自然愛好研究会は増田地区と三木市、その他関係機関に貴重な自然を保存しよう働きかけました。その結果、三木市が約0,7haの用地を買い上げ公園にすることになりました。平成13年に三木市と増田地区及び三木自然愛好研究会は増田ふるさと公園の維持管理に関する委託契約を結びました。私たちに委託された内容は野生生物種の調査及び保全に関することなどです。



春：野草の学習と若芽を味わう野草の会



秋：ふるさと公園フェスティバル



冬：公園の全面草刈りと畔焼き



ササユリの播種・移植



通年：豊地小学校を始め三木市内の複数校に環境体験教育の実践の場として提供



緊急事態発生 2009年ころから溜池の水草が急激に減ってきました。アメリカザリガニの仕業です。2010年夏から現在までモンドリで捕獲し、減少させることができ、トンボの種類や数が増えました。水草も復活しつつあります。しかしアメリカザリガニの生命力は強いです。永遠に捕獲し続けなければならないでしょう。

